

令和5年度 研究の概要

1 研究主題

他者との関わりを通して、自らの学びを深めていく子どもの育成（5年次）
～伝え合う力を育む授業づくり～

2 研究主題設定の理由

昨年度も「他者との関わりを通して、自らの学びを深めていく子どもの育成」の研究主題の下、「自分の考えを分かりやすく伝えようとする力」と「学びを深めようとする力」を育てることを研究の重点とし、「自分の思いや考えを他者に分かりやすく伝えたり、相手の思いや考えを受け止めながら聞いたりする子ども」「他者と関わりながら、自分の考えを広げたり、深めたりする子ども」を目指して授業改善に取り組んだ。

授業においては、子どもに働きかせたい主な見方・考え方と育てたい子どもの姿を、各教科における子どもの実態を把握した上で、授業者が適切に捉え、授業のねらいや発問を明確にして計画、実践を積み重ねてきた。その結果、子どもたちは自分の思いや考えをもち、他者と関わりながら学習を進め、自分の考えを伝えたり、広げたりすることへの意欲が高まってきた。また、学びのつながりを意識し、既習内容を見直してみよう、活用してみようとする態度が育ってきている。さらに、「学びを支える基盤」を共通実践事項と位置付けたことで、他者と協力して学ぶ楽しさを実感し、考えることや話し合うことにも意欲的に取り組む姿が見られるようになってきた。

県学習状況調査の質問紙の結果においても、他者との関わり、学びのつながりに関する項目は前年度からの改善が見られた。しかし、「ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目については、県平均を下回る学年があり、授業を通して自分が何を身に付け、何ができるようになったかを自覚できていない子どもがいることが分かった。また、2年生から6年生児童に行った学習アンケートの結果では、伝え合いへの意欲はあるものの、発表することへの苦手意識をもつ児童が多いことも明らかになった。このことから、本年度は、子どもが自らの学びを自覚化できるよう、「伝え合う力を育む授業づくり」の在り方を模索し、身に付けさせたい資質・能力の視点から「学びを深めていく子どもの姿」を具現化していきたい。その基盤として、「この学びは自分にとって大事だ」「自分にとって役に立つ」という自分ごととして追求できる課題を設定し、必要感のある対話の場を授業に組み入れることを重点とし、研修を進めていきたい。授業の中で自分は何を追求し、どのように考え、何が分かったのか。そしてその学びをどのように次につなげていくのか。また、友達との関わりで新たに何を知り、どのような妥当な考えにまとまったのか。授業を通して身に付けた子どもの学びを、「伝える」「伝え合う」ことで、より確かなものとして子ども自身が自覚できるよう、今年度は特に窓口となる教科は設定せず、これまでの成果を生かしながら、伝え合う力を育む授業づくりに取り組んでいきたい。

3 育てたい子どもの姿

- 自分の思いや考えを他者に分かりやすく伝えたり、相手の思いや考えを受け止めながら聞いていたりする子ども
- 他者と関わりながら、自分の考えを広げたり、深めたりする子ども

4 研究の仮説

的確な児童の実態把握の下に、自分とのつながりを意識できる課題を設定し、「伝えたい」「聞きたい」という思いを支える授業構成や手立てを工夫することで、学びをつなげ、生かそうとする子どもが育つのではないか。

5 研究の重点と内容

- (1) 「自分の考えを分かりやすく伝えようとする力」を育てるために
 - ◎必要感のある対話的な学びを取り入れた学習の工夫
 - 課題解決の見通しをもてる授業構成
 - 理由や根拠を明確にしたり、資料と関連付けたりする表現方法の指導

- (2) 「学びを深めようとする力」を育てるために

- ◎自己ごととして考えることのできる課題、学習活動の設定
 - 話合いをより深めるための発問や資料提示の工夫
 - 次時につながり、互いの変容や成長に気付くことができるような振り返りの場の工夫
(視点の提示、選択等)

6 学びを支える基盤（共通実践事項）

- 学びを支える学習集団づくり
 - ・互いに話を聞き合える雰囲気づくりの工夫と人間関係の育成
 - ・多様な意見を受け止め、友達の発表に反応することへの意識付け
(ハンドサイン、リレー発言、うなずきなど)
- 聞く力・話す力を育てる手立ての工夫
 - ・「飯田川の子ども 聞き方・話し方」の活用
- 書く・伝える活動の充実
 - ・小中連携事業による「羽城かがやきプラン」の活用
 - ・書く活動の場の設定
- 繰り返し学習による基礎的・基本的な知識及び技能の定着
 - ・家庭学習への取組
 - ・「はげみ学習」の継続
 - ・チャレンジテスト（漢字・計算）の実施
 - ・ステップアップタイムの活用

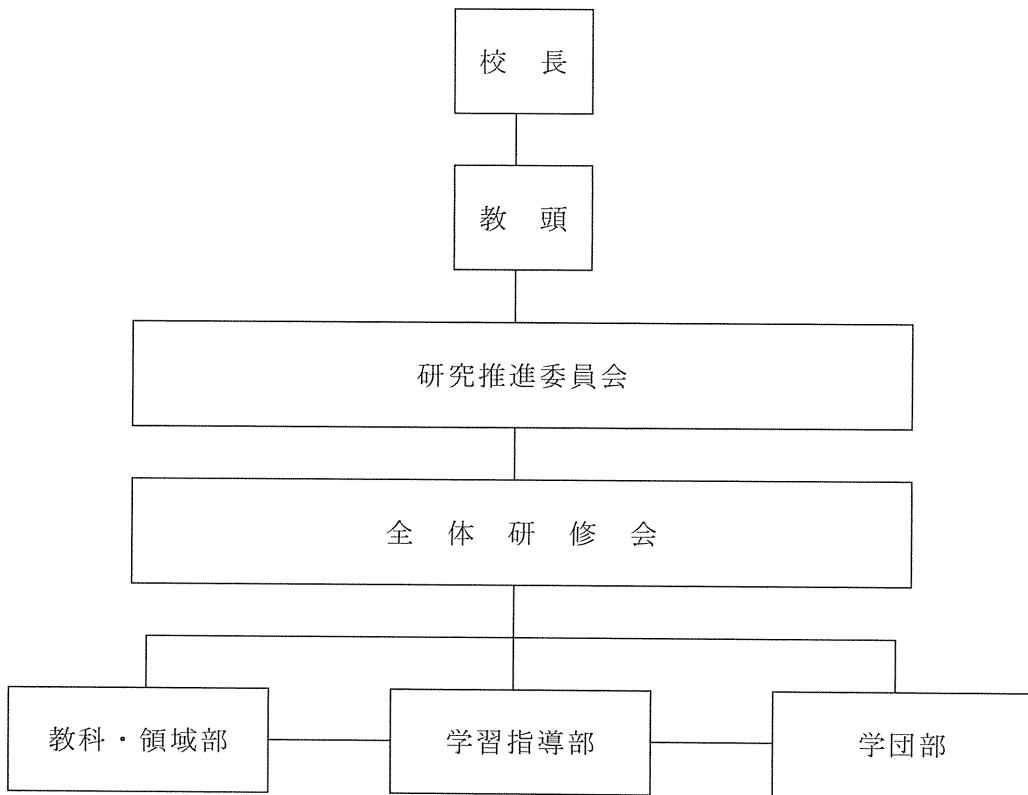
7 各教科等における「見方・考え方」

国 語	自分の思いや考えを深めるため、対象と言葉、言葉と言葉の関係を、言葉の意味、働き、使い方等に着目して捉え、その関係性を問い合わせ直して意味付けること。「言葉による見方・考え方」
社 会	社会的事象を、位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などに着目して捉え、比較・分類したり、統合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること。「社会事象の見方・考え方」
算 数	事象を数量や図形及びそれらの関係についての概念等に着目してその特徴や本質を捉えること。「数学的な見方」 目的に応じて数・式、表、グラフ等を活用し、論理的に考え、問題解決の過程を振り返るなど既習の知識・技能等を関連付けながら統合的・発展的に考えること。「数学的な考え方」
理 科	自然の事物・現象を質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関連付けたりするなど科学的に探究する方法を用いて考えること。「理科の見方・考え方」
生 活	身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、比較、分類、関連付け、試行、予測、工夫することなどを通して自分自身や自分の生活について考えること。
音 楽	音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や文化などと関連付けること。
図画工作	感性や想像力を働かせ、対象や事象を、形や色などの造形的な視点で捉え、自分のイメージをもちながら意味や価値をつくりだすこと。
家 庭	家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、よりよい生活を営むために工夫すること。「生活の営みに係る見方・考え方」
体 育	運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに、体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性等に応じた『する・みる・支える・知る』の多様な関わり方と関連付けること。「体育の見方・考え方」 個人及び社会生活における課題や情報を、健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え、疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上、健康を支える環境づくりと関連付けること。「保健の見方・考え方」
外国語 (外国語活動)	外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的・場所・状況等に応じて、情報や自分の考えなどを形成、整理、再構築すること。 「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」
特別の教科 道 德	様々な事象を、道徳的諸価値の理解を基に自己との関わりで(広い視野から)多面的・多角的に捉え、自己の(人間としての)生き方について考えること。
総合的な 学習の時間	各教科等における見方・考え方を総合的に働かせて、広範な事象を多面的な角度から俯瞰して捉え、実社会や実生活の文脈や自己の生き方と関連付けて問い合わせ続けること。
特別活動	各教科等における見方・考え方を総合的に働かせて、集団や社会における問題を捉え、よりよい人間関係の形成、よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己の実現に関連付けること。

※中央教育審議会答申（平成28年12月21日）より抜粋

8 研究の進め方

(1) 研究の組織



- 研究推進委員会…研究の方向づけ、研究内容の検討、研究全体の企画・運営など
- 全体研修会…研究計画の検討、共通理解、授業研究会、研修報告など

(2) 研究推進の方法

- ①授業研究の充実
 - ・視点を明確にした授業提示
 - ・研究協議会（成果の確認と授業改善の方策、付箋紙を用いたワークショップ型）
- ②全体研修会の充実
- ③年間研修計画の P D C A サイクルでの見直し
 - ・短いサイクルでの見直しと活用
- ④学習アンケートの実施（6月、2月）と分析・実態把握及び活用
- ⑤小中連携事業による中学校区内小中学校の相互授業参観及び研究会参加
- ⑥先進校視察及び伝達講習

9 研究の全体構想

<p style="text-align: center;">【学校教育目標】 よりよく生きる ~夢 笑顔 学ぶ瞳~</p>			
<p style="text-align: center;">【めざす子どもの姿】</p> <p>たくましい子 ・自己を見つめ、目標に向かって努力する子ども やさしい子 ・社会の一員として思いやり、関わり合う子ども かしこい子 ・よく聞き、考え、学び続ける子ども</p>			
<p style="text-align: center;">【研究主題】 他者との関わりを通して、自らの学びを深めていく子どもの育成 ～伝え合う力を育む授業づくり～</p>			
<p style="text-align: center;">【育てたい子どもの姿】</p> <p>○自分の思いや考えを他者に分かりやすく伝えたり、相手の思いや考えを受け止めながら 聞いたりする子ども ○他者と関わりながら、自分の考えを広げたり、深めたりする子ども</p>			
<p style="text-align: center;">【研究の仮説】</p> <p>的確な児童の実態把握の下に、自分とのつながりを意識できる課題を設定し、「伝えたい」「聞きたい」という思いを支える授業構成や手立てを工夫することで、学びをつなげ、生かそうとする子どもが育つのではないか。</p>			
<p style="text-align: center;">【研究の重点と内容】</p> <table border="1"><tr><td>(1) 「自分の考えを分かりやすく伝えようとする力」を育てるために ②必要感のある対話的な学びを取り入れた学習の工夫 ○課題解決の見通しをもてる授業構成 ○理由や根拠を明確にしたり、資料と関連付けたりする表現方法の指導</td><td>(2) 「学びを深めようとする力」を育てるために ②自己ごととして考えることのできる課題、学習活動の設定 ○話し合いをより深めるための発問や資料提示の工夫 ○次時につながり、互いの変容や成長に気付くことができるような振り返りの場の工夫 (視点の提示、選択等)</td></tr></table>		(1) 「自分の考えを分かりやすく伝えようとする力」を育てるために ②必要感のある対話的な学びを取り入れた学習の工夫 ○課題解決の見通しをもてる授業構成 ○理由や根拠を明確にしたり、資料と関連付けたりする表現方法の指導	(2) 「学びを深めようとする力」を育てるために ②自己ごととして考えることのできる課題、学習活動の設定 ○話し合いをより深めるための発問や資料提示の工夫 ○次時につながり、互いの変容や成長に気付くことができるような振り返りの場の工夫 (視点の提示、選択等)
(1) 「自分の考えを分かりやすく伝えようとする力」を育てるために ②必要感のある対話的な学びを取り入れた学習の工夫 ○課題解決の見通しをもてる授業構成 ○理由や根拠を明確にしたり、資料と関連付けたりする表現方法の指導	(2) 「学びを深めようとする力」を育てるために ②自己ごととして考えることのできる課題、学習活動の設定 ○話し合いをより深めるための発問や資料提示の工夫 ○次時につながり、互いの変容や成長に気付くことができるような振り返りの場の工夫 (視点の提示、選択等)		
<p style="text-align: center;">【学びを支える基盤（共通実践事項）】</p> <p>○学びを支える学習集団づくり ○聞く力・話す力を育てる手立ての工夫 ○書く・伝える活動の充実 ○繰り返し学習による基礎的・基本的な知識及び技能の定着</p>			

10 年間研修計画

月		研修・授業研究会等	
4	計 画 ・ 立 案	<p>研究推進委員会</p> <p>全体研修会①… 今年度の研究についての共通理解</p> <p>年間計画の検討・組織づくり</p> <p>全国学力・学習状況調査（4／18）実施</p>	P l a n
5		<p>研究計画等の共通理解</p> <p>授業研究会【特別支援】事前検討会</p>	D o
6		<p>授業研究会【特別支援】（あかしあ）…全体研修会②(6/20)</p> <p>授業研究会【教科等（道徳科）】事前検討会（中学団）</p>	C h e c k
7 ・ 8	実 践 ・ 検 証	<p>授業研究会【教科等（道徳科）】（中学団 7／10）</p> <p>全体研修会③… 出張報告、実践途中経過報告</p>	A c t i o n
9 ・ 10		<p>中央教育事務所長訪問(9／12)</p> <p>授業研究会【校内】事前検討会（低学団）</p>	P l a n
11		<p>授業研究会【校内】（低学団）</p> <p>授業研究会【校内】事前検討会（高学団）</p>	D o
12		<p>県学習状況調査（12／6）</p> <p>学習状況調査結果分析、考察</p> <p>授業研究会【校内】（高学団）</p>	C h e c k
1	ま と め	<p>県学習状況調査の結果分析、考察を受けての課題への取組</p> <p>研究推進委員会</p> <p>第3回授業力向上推進協議会（1／24）</p>	A c t i o n
2		<p>全体研修会④… 今年度の反省と評価</p> <p>来年度の研究の方向について</p>	P l a n
3		研究推進委員会	D o